

1

問題のページへ

(1) $z^2 = (x + yi)^2 = x^2 - y^2 + 2xyi$ なので, $z^2 = 3$ より,

$$x^2 - y^2 = 3 \dots\dots\dots, \quad 2xy = 0 \dots\dots\dots$$

また, $\bar{z} = x - yi$, $-\frac{5}{z} = -\frac{5}{x - yi} = -\frac{5(x + yi)}{x^2 + y^2}$ なので, $\bar{z} = -\frac{5}{z}$ より,

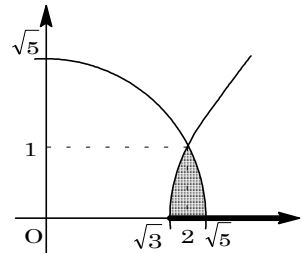
$$x = -\frac{5x}{x^2 + y^2}, \quad -y = -\frac{5y}{x^2 + y^2}$$

$(x, y) \neq (0, 0)$ で, $x(x^2 + y^2 + 5) = 0 \dots\dots\dots$, $y(x^2 + y^2 - 5) = 0 \dots\dots\dots$

より $xy = 0$, より $x = 0$ なので,

$$x = 0, \quad xy = 0, \quad y(x^2 + y^2 - 5) = 0, \quad x^2 - y^2 = 3$$

z の範囲を図示すると, 右図の網点部および太線部となる。ただし, 境界はすべて含む。



(2) z と $3i$ の距離が最小となるのは, 右図より, z が曲線 $x^2 - y^2 = 3$ 上にあるときなので,

$$\begin{aligned} |z - 3i|^2 &= x^2 + (y - 3)^2 = (y^2 + 3) + (y - 3)^2 \\ &= 2y^2 - 6y + 12 = 2\left(y - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{15}{2} \end{aligned}$$

$0 \leq y \leq 1$ より, $y = 1$ のとき $|z - 3i|^2$ は最小値 8 をとる。

よって, $|z - 3i|$ の最小値は $2\sqrt{2}$, このとき $z = 2 + i$ である。

[解説]

(1)は, 式を変形せずに共通部分を図示した方が, かえって近道です。積が 0 以上や 0 以下というのはアブナイですから。

2

問題のページへ

$f(x) = x^4 + x^3 - 3x^2$ より, $f'(x) = 4x^3 + 3x^2 - 6x$

接点を $(t, t^4 + t^3 - 3t^2)$ とおくと, 接線の方程式は,

$$y - (t^4 + t^3 - 3t^2) = (4t^3 + 3t^2 - 6t)(x - t)$$

$$y = (4t^3 + 3t^2 - 6t)x - 3t^4 - 2t^3 + 3t^2 \dots\dots\dots$$

が点 $(0, a)$ を通るので,

$$a = -3t^4 - 2t^3 + 3t^2 \dots\dots\dots$$

ここで, $g(t) = -3t^4 - 2t^3 + 3t^2$ とおくと,

$$g'(t) = -12t^3 - 6t^2 + 6t$$

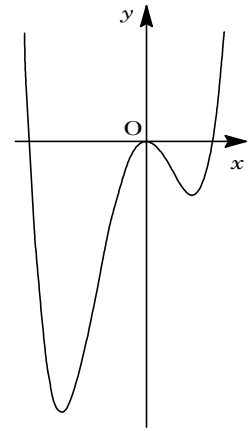
$$= -6t(2t-1)(t+1)$$

点 $(0, a)$ を通る複接線以外の接線が 1 本だけ引ける条件は,

がただ 1 つの実数解をもつことに対応する。

すると, 右表において $2 > \frac{5}{16}$ なので,

$a = 2$ のときである。



t	...	-1	...	0	...	$\frac{1}{2}$...
$g'(t)$	+	0	-	0	+	0	-
$g(t)$	\nearrow	2	\searrow	0	\nearrow	$\frac{5}{16}$	\searrow

[解 説]

問題文の「ただ 1 点でこの曲線に接する」というコメントは, 4 次曲線では現れる複接線を除外するというものです。

3

問題のページへ

(1) $\angle P_0OP_k = \frac{2\pi}{4n}k = \frac{\pi}{2n}k$ であり, 条件より $P_0P_k = \sqrt{2}$

なので $P_0P_k^2 = 2$

P_0OP_k に余弦定理を適用して,

$$1 + 1 - 2 \cdot 1 \cdot 1 \cdot \cos \frac{\pi}{2n}k = 2$$

$$\cos \frac{\pi}{2n}k = 0 \text{ より, } \frac{\pi}{2} \leq \frac{\pi}{2n}k \leq \frac{3\pi}{2}$$

よって, $n \leq k \leq 3n$

(2) P_0 を 1 つの頂点とする三角形を考え, 他の頂点を $P_i, P_j (i < j)$ とおくと,

$$P_0P_i = \sqrt{2} \text{ から, } n \leq i \leq 3n \dots\dots$$

$$P_iP_j = \sqrt{2} \text{ から, } i+n \leq j \leq i+3n \dots\dots$$

$$P_jP_0 = \sqrt{2} \text{ から, } 4n-3n \leq j \leq 4n-n$$

$$n \leq j \leq 3n \dots\dots$$

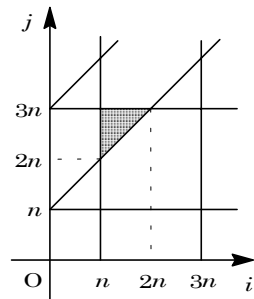
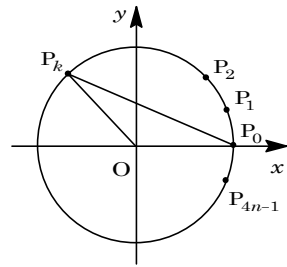
を満たす領域は右図のようになり, この領域内の

(i, j) の組の個数は,

$$\begin{aligned} \sum_{i=n}^{2n} \{3n - (i+n) + 1\} &= \sum_{i=n}^{2n} (2n - i + 1) = \sum_{i=1}^{n+1} i \\ &= \frac{1}{2}(n+1)(n+2) \end{aligned}$$

P_1 を 1 つの頂点とする三角形, P_2 を 1 つの頂点とする三角形, $\dots\dots$, P_{4n-1} を 1 つの頂点とする三角形についても同数となり, また条件を満たす三角形を重複して 3 回数えていることより, 求める個数 $g(n)$ は,

$$g(n) = \frac{1}{2}(n+1)(n+2) \cdot 4n \cdot \frac{1}{3} = \frac{2}{3}n(n+1)(n+2)$$



[解 説]

(2)は格子点の個数を対応させて数えました。よく見かける頻出題です。

4

問題のページへ

(1) $g_n(k-1) > g_n(k)$ より, $g_n(k) - g_n(k-1) < 0$ なので, $f\left(\frac{k\pi}{3n}\right) < 0$ ……

さて, $f(x) = 4\cos^2 x - 8\cos x + 3 = (2\cos x - 3)(2\cos x - 1)$

$f(x) < 0$ とすると, $\cos x < \frac{1}{2}$ なので, より $\cos\frac{k\pi}{3n} < \frac{1}{2}$ ……

$2 < \frac{k\pi}{3n} < \pi$ から, $\frac{2\pi}{3n} < \frac{k\pi}{3n} < \pi$ となり, を満たすのは, $\frac{2\pi}{3n} < \frac{k\pi}{3n} < \frac{1}{3}\pi$

よって, $2 < k < n$ となり, 求める k は, $k = 2, 3, \dots, n-1, n$

すると, $g_n(k-1) > g_n(k)$ となるのは $2 < k < n-1$, また $g_n(k-1) = g_n(k)$ となるのは $k = n$, さらに $g_n(k-1) < g_n(k)$ となるのは $n+1 < k < 3n$ なので,

$$g_n(1) > g_n(2) > \dots > g_n(n-1) = g_n(n) < g_n(n+1) < \dots < g_n(3n)$$

よって, $g_n(k)$ が最小となる k は, $n-1$ または n である。

(2) (1)より, $G_n = g_n(n) = f\left(\frac{\pi}{3n}\right) + f\left(\frac{2\pi}{3n}\right) + \dots + f\left(\frac{n\pi}{3n}\right) = \sum_{k=1}^n f\left(\frac{\pi}{3n}k\right)$

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{G_n}{n} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n f\left(\frac{\pi}{3n}k\right) = \frac{3}{\pi} \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\pi}{3n} \sum_{k=1}^n f\left(\frac{\pi}{3n}k\right) = \frac{3}{\pi} \int_0^{\frac{\pi}{3}} f(x) dx \\ &= \frac{3}{\pi} \int_0^{\frac{\pi}{3}} (4\cos^2 x - 8\cos x + 3) dx = \frac{3}{\pi} \int_0^{\frac{\pi}{3}} (2\cos 2x - 8\cos x + 5) dx \\ &= \frac{3}{\pi} [\sin 2x - 8\sin x + 5x]_0^{\frac{\pi}{3}} = \frac{3}{\pi} \left(\frac{\sqrt{3}}{2} - 4\sqrt{3} + \frac{5}{3}\pi \right) = -\frac{21\sqrt{3}}{2\pi} + 5 \end{aligned}$$

[解 説]

(1)は階差数列を用いた最大・最小問題, (2)は区区分積法による極限計算となっています。一見, 畑違いの分野が1つの問題にうまく収まっています。

5

問題のページへ

(1) (i) $n=1$ のとき $b_1 = c_1 = 1 - a_1$ より, $b_1 \geq c_1$ は成立する。(ii) $n=k$ のとき $b_k \geq c_k$ と仮定すると, $b_k - c_k \geq 0$

$$b_{k+1} - c_{k+1} = (1 - a_{k+1})b_k - (c_k - a_{k+1}) = a_{k+1}(1 - b_k) \dots\dots\dots$$

ここで, $a_n \geq 0$ かつ $\sum_{n=1}^{\infty} a_n = \frac{1}{2}$ より, $0 \leq a_n \leq \frac{1}{2}$ となるので, $\frac{1}{2} \geq 1 - a_n \geq 1$

よって, $b_k = (1 - a_1)(1 - a_2) \dots\dots (1 - a_k) \geq 1$ から, $a_{k+1}(1 - b_k) \leq 0 \dots\dots\dots$

より, $b_{k+1} - c_{k+1} \leq 0$ となり, $n = k + 1$ のときも成立する。

(i)(ii)より, すべての n に対し, 不等式 $b_n \geq c_n$ が成り立つ。(2) 条件より, ある n に対して, $b_{n+1} - c_{n+1} = (b_n - c_n) + a_{n+1}(1 - b_n) = 0$

ここで, $a_{n+1} \geq 0$ より $a_{n+1}(1 - b_n) \leq 0$ なので, $b_n - c_n \geq 0$

ところが, (1)より $b_n - c_n \leq 0$ なので, $b_n - c_n = 0$ となる。

(3) $c_3 = 1 - (a_1 + a_2 + a_3)$ で, $0 \leq a_1 + a_2 + a_3 \leq \sum_{n=1}^{\infty} a_n = \frac{1}{2}$ より, $\frac{1}{2} \leq c_3 \leq 1$

ところが, $b_3 = \frac{1}{2}$ のとき, (1)より $c_3 \leq \frac{1}{2}$ となるので, $c_3 = \frac{1}{2}$ である。

さて, $b_3 = (1 - a_1)(1 - a_2)(1 - a_3) = \frac{1}{2} \dots\dots\dots$, $c_3 = 1 - (a_1 + a_2 + a_3) = \frac{1}{2} \dots\dots\dots$

より, $1 - (a_1 + a_2 + a_3) + (a_1 a_2 + a_2 a_3 + a_3 a_1) - a_1 a_2 a_3 = \frac{1}{2}$

を代入して, $a_1 a_2 + a_2 a_3 + a_3 a_1 = a_1 a_2 a_3 \dots\dots\dots$

また, (2)より $b_3 = c_3 = \frac{1}{2}$ のとき, $b_2 = c_2$ なので,

$$(1 - a_1)(1 - a_2) = 1 - (a_1 + a_2), \quad a_1 a_2 = 0 \dots\dots\dots$$

(i) $a_1 = 0$ のとき $a_2 a_3 = 0$

$a_2 = 0$ のとき $a_3 = \frac{1}{2}$, $a_3 = 0$ のとき $a_2 = \frac{1}{2}$

(ii) $a_1 \neq 0$ のとき $a_2 = 0$ で, $a_3 a_1 = 0$ なので $a_3 = 0$

このとき, $a_1 = \frac{1}{2}$

(i)(ii)より, $(a_1, a_2, a_3) = (\frac{1}{2}, 0, 0)$, $(0, \frac{1}{2}, 0)$, $(0, 0, \frac{1}{2})$

すると, このいずれの組も, $\sum_{n=1}^{\infty} a_n = \frac{1}{2}$ から $n \geq 4$ において $a_n = 0$ となるので, 求める数列 $\{a_n\}$ は全部で 3 種類存在する。

[解 説]

思考がなめらかに流れていくように, 設問に工夫がいろいろ施されています。